特集
人の移動

グローバル化に伴って人の移動が活発化しており、街中で外国人を見かけることが多くなりました。30年前は、街で外国人とすれ違うとなぜかそわそわし、話しかけられまいかどきどきした人も少なくないのではないかと思います。しかし、今では外国人とすれ違うなんてありふれた日常の一コマにすぎません。

ところで、人の移動そのものは有史以前からの古い現象です。ゲルマン民族の大移動や大航海時代の植民地支配をご存じでしょう。特に、後者の交易により作られた莫大な資金は、のちにイギリスで起きる産業革命の重要な資金源となりました。また、20世紀に入ってからは、貧しい国から豊かな国へ仕事を求めて移動する移民、自国の紛争が激しくなりやむなく異国へ移動する難民が増えました。このように人の移動は、経済、社会に大きな影響を与えてきました。

日本においても数年前から外国人採用枠を拡大する企業が増えており、多かれ少なかれ日本人雇用に影響がでているのではないかと思います。しかし、一方で、国内の人口減少を懸念して、外国人労働者の受け入れに期待をよせる声もあります。仮に負の影響の方が大きいとしてももはや人の移動の流れを止めることはできません。

だから、私たちはこの問題についてもっと考えなければならなくなりました。今回は多岐にわたる分野から7名の先生に執筆をお願いしました。様々な角度から「人の移動」が論じられ、大変面白い特集となりました。どうぞごゆっくりお楽しみください。

（編集担当：西村智）